

役員さん、こんにちは ④9

法人会活動の発展は 国づくりの早道

株式会社 ライデリ
代表取締役 浦崎 真作 氏

——御社は、県内で最大の規模とシェアを誇っているホームページ制作会社（HP制作1060社、運用サポート300社）ですが、創業は1998年だそうですね。当時はまだ、ホームページ

に対して社会的な認知が熟していなかったと思うのですが、確信をもって起業なさったのですか？



浦崎 真作（うらさき・しんさく）氏

厚生委員 平成19年8月～
青年部会事務局長 平成21年5月～

「わたしは当時、ある旅行社で添乗員をし、インターネットの担当もしていました。添乗員として

世界各地へ出掛けていると、先進国でも後進国でも大きな変化を感じるようにになりました。それまでは、香港なら中国返還、韓国では離散家族の再会、ベトナムはドイモイ政策という

ふうに、話題が地域によつて異なっていたのです。それが、共通の話題になっていきました。原因は、インターネットの普及です。『世界的に大きな波が来ているな！』と実感し、独立させてもらいました」
——現在は、ホームページ

ーの制作に限らず、システム開発・ホームページ運用システム・webマーケティング・運用サポートなどの事業を展開なさっています。福岡にも営業所を開設していますね。御社のようなIT事業でも、営業所の展開が必要なのですか？

「他府県の営業所については一時、いわゆるITバブルに乗って東京まで進出しましたが、現在は、お客様の多い福岡営業所に集約して、2回目の営業所展開を準備しているところです。他府県に営業所を設置するのは、IT事業とはいえ、顧客である経営者との関係はあくまでアナログだからです。経営者たちのネット化を図るためには、お互いに、顔が見えるかたちがのぞましいのです」

——県内では、那覇市内にインターネットカフェを開設しましたね。目的は？

「2003年に、那覇市から委託を受けて、市内のIT企業が集結した那覇市IT創造館内に『スパイラルネットカフェ』をオープンしました。ふつうのインターネットカフェは個室ですが、同店はオープン・スペースです。ここで、多くの方々に、ネットの世界を学んでいただきたいと思います。また、同居しているIT企業との連携を望んでいます」

——『多言語コミュニケーションセンター』を9月に始動なさいましたが、そこでは、ホームページを、多言語に自動翻訳するんだそうですね？

「自分のなかの世界観では、世界大

戦の終結は、スピルバーグ監督ではありませぬけれども、大規模な地上戦が行われた沖縄戦だったと思います。沖縄は、日本から見れば南の端ですが、アジアでは中心の位置にあります。その沖縄から、新しい時代に、ITによる万国津梁を試みてみたいと夢みています。架橋を果たすためにはまず、言語という壁があります。それを突き抜けていくサービスをやりたいというのが最初からありました。そこへ、Yahoo O!や楽天などですでに実績のあるクロスランゲージ社と共同事業をする機会を得ました。当社は、システムの翻訳精度を高める仕事を担当しています。始動して数カ月が経ちましたが、日本を代表する複数の大手企業、全国自治体のホームページの訳質アップを行っています」

——法人会活動について。

「わたしが法人会活動に関わっているのは、目指していることが、自分の経営活動と多分に重なっているからです。納税を通じた社会活動は、経営者の本分だと思えます。法人会活動を発展させることが、国づくりの早道ではないでしょうか。地域に関わるのはとても大切なことで、全国的に展開していく事例になってほしいという思いを込めて、那覇法人会のホームページも担当させてもらっています」

株式会社 ライデリ

住所／那覇市松尾 1-10-24

電話／098-882-8225